

Ⅱ 職員の健康管理

Ⅱ 職員の健康管理

平成 16 年度の独立行政法人化に伴って、山口大学においても人事院規則から労働安全衛生法に沿った健康診断を計画実施することになった。定期健康診断については、山口大学職員労働安全衛生規則第 26 条に基づいて年 1 回の実施している。また、労働安全衛生規則第 13 条あるいは労働安全衛生法施行令第 22 条に掲げる業務に常時従事している職員(特定業務あるいは特殊業務従事者)に対しては、6 ヶ月(半年)ごとに健康診断を実施している。

1. 定期健康診断

1) 対象と概要

職員の健康診断は、山口市(吉田地区<附属小・中学校、幼稚園、特別支援学校を含む>)、宇部市(常盤地区・小串地区)、光市(光地区<附属小・中学校>)の大きく 4 地区に分けて実施している。

本学で実施している基本健診の検査項目と各項目の対象者を表 1 に示した。○印は全員が行う項目(必須項目)、△印は必須項目ではないが希望する者に行う項目を表す。なお、平成 20 年度より検査項目に「腹囲」が追加され、総コレステロールが LDL コレステロールに変更となった。

職員の定期健康診断は、安全衛生対策室が実施主体であるが、実施計画の立案や外部検査機関との調整は保健管理センターが行っている。大まかな役割担当としては、実施通知や対象者の把握、結果報告書の配付などの事務的な作業は安全衛生対策室が担当し、健康診断実施に関する実働的な作業(検査物品の調達・準備や健診会場の設営、健康診断結果の整理・判定作業、結果通知報告書作成など)は、保健管理センターが担当している。

表 1 各検査の対象者および検査項目

検査項目	対象者区分				備考	
	34 才以下	35 才	36~39 才	40 才以上		
基本健診	身体計測(BMI)	○	○	○	○	体脂肪率
	血圧検査	○	○	○	○	
	尿検査	○	○	○	○	蛋白、糖、潜血
	胸部X線検査	○	○	○	○	間接撮影
	聴力検査	○	○	○	○	
	視力検査	○	○	○	○	
	腹囲計測	—	○	—	○	BMI20 未満の人は省略可
	心電図検査	—	○	—	○	
	血液検査	△	○	△	○	末梢血(WBC、RBC、Hb、Ht) 肝機能(AST、ALT、 γ -GT) 脂質(LDL・HDL コレステロール、中性脂肪) その他(血糖、尿酸、血清アミラーゼ) ※H25～総コレステロール、血小板、クレアチニン追加
	内科診察	○	○	○	○	自覚症状・他覚症状、既往歴、業務歴等問診票に基づく問診 保健管理センター医師、産業医
※ 肺がん検診	—	—	—	△	胸部X線(間接)、喀痰検査	
※ 大腸がん検診	—	—	—	△	便潜血反応検査(2日法)	

平成 26 年度及び平成 27 年度の各地区の定期健康診断時期及び実施場所は表 2 の通りであった。

表 2 各地区の実施日および実施場所

	地区名	実施時期		実施場所
平成 26 年度	吉田	基本健診: 8/19(火)~26(火) * 受付: 9:00~11:30 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)		保健管理センター
		附属学校 ・幼稚園 ・小学校 ・中学校 ・特別支援学校	基本健診: 7/31(木)~8/1(金) * 受付: 9:00~11:30 ※大腸がん検診(後述7. がん検診参照)	
	小串	基本健診: 9/9(火)~19(金) * 受付: 9:30~12:30、14:00~16:00 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)		医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※9/16・17・18・19 は胸部 X 線バス 2 台体制 ※9/19 は午前中(9:30~12:30)のみ
	常盤	基本健診: 9/26(金)~30(火) * 受付: 9:00~12:00 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)		工学部保健室(保健管理センター常盤分室) ※9/30 は 9:00~11:30、13:00~15:00
	光	基本健診: 8/7(木) * 受付: 10:30~12:30 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)		附属光中学校保健室
平成 27 年度	吉田	基本健診: 7/29(水)~8/7(金) * 受付: 9:00~11:30 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)		保健管理センター
		附属学校 ・幼稚園 ・小学校 ・中学校 ・特別支援学校	基本健診: 吉田と同期間内 * 受付: 9:00~11:30 ※大腸がん検診(後述7. がん検診参照)	
	小串	基本健診: 9/15(火)~29(金) * 受付: 9:30~12:30、14:00~16:00 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)		医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※9/24~29 は胸部 X 線バス 2 台体制 ※9/29 は午前中(9:30~12:30)のみ
	常盤	基本健診: 9/2(水)~4(金) * 受付: 9:00~12:00 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)		工学部保健室(保健管理センター常盤分室) ※9/6 は 9:00~11:30、13:00~15:00
	光	基本健診: 8/20(木) * 受付: 10:30~12:30 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)		附属光中学校保健室

2) 方法と手順

学生健康診断と同様に、平成 14 年度から身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査について、測定データを測定器からパソコンを介して健康診断専用サーバに自動入力するシステムを用いて実施している。

職員の健康診断では、受診対象者に健康診断問診票を事前配付しており、問診票にあらかじめ印刷された受診者バーコードを用いている。健康診断データ自動入力(取り込み)システムの導入によって、受診者数の増加に伴う健康診断後の膨大なデータ整理作業にかかる手間が軽減された。その一方で、健康診断実施前の物品準備(問診票・バーコード付き尿コップ・胸部 X 線フィルム番号バーコード等)や検査機器とパソコンのセッティングに多少の労力を要し、健康診断要員を複数必要とするデメリットもある。

平成 23 年度からは、健康診断結果報告書作成までの期間短縮を図るため、入力されたデータに基づく健診結果自動判定システムをメディア基盤センター久長先生のご協力を得て、構築し運用している。自動判定システムを導入したことによって、検査所見や事後措置(指導区分)判定が一定の基準で行えるようになり、結果報告書も短期間で作成できるようになった。なお、このシステム導入に伴い、結果報告書の様式を前年分の経過(検査データ)も並べてみられるように変更し、平成 24 年度からは、2 年分の結果を掲載した報告書を通知している。さらに、「要精査」及び「要医療」判定であった者に対して、二次検査受診を促すことを目的とし、二次検査結果報告書様式を作成・発行し、結果報告書とともに通知している。

なお、光地区については、受診者数が少数であることや健診会場の広さ及び準備の都合から、自動入力システムを使用せず、従来通りの方法で健康診断を行い、健康診断後に検査データを手入力している。検査結果の判定は、自動判定システムで行っている。

以下に、これらのシステムを用いた検査手順及び方法について具体的に記述する。

①身長・体重計測

測定には全自動身長体重計(タニタ BF-220、DC-250)を 1 台用い、測定器とノート型パソコンを 1 対 1 で対応させている。検査要員として、パソコン操作及び測定結果の問診票への転記のために女性職員(H27 年度は学外雇用者)を 1 名配置している。光地区については、全自動身長体重計(BF-220)を用い、手動操作で測定を行っている。

②血圧測定

測定には全自動血圧計(コリン BP203RVⅢA およびオムロンコリン BP203RVⅢB)を 2 台用いて行い、ノート型パソコン 1 台で測定器 2 台を操作する方法で行っている。検査要員として、パソコン操作及び測定結果の問診票への転記のために各事業場の職員担当部署職員(H27 年度は学外雇用者)を 1 名配置している。なお、保健管理センターでは二次検査は実施しておらず、すぐに医療機関へ受診する必要のない者(要観察・要注意)へは、医師の診察時に生活指導を行ったり、保健管理センター内に常時設置してある全自動血圧計で定期的な測定を促し、血圧チャートをつけて経過を見るなど個別にフォローアップを行っている。

③尿検査

検査には自動尿検査器(クリニテックアドバンタス)を 1 台用い、尿検査結果取り込み用パソコンを介して、検査データをサーバに蓄積している。検査手順は、事前準備として尿コップに尿検査番号バーコードを貼付し、検査当日に尿検査受付で問診票に印刷された受診者バーコードと尿検査番号をサーバに登録する。その後、自動尿検査器付属のスキヤナーで検体(尿コップ)の検査番号バーコードを読み取り、通常通りの検査を行う。

このシステムを用いることによって、尿検査結果の後日入力及び入力確認作業が不要となり、検査後の整理業務が大幅に軽減された。なお、受付及び検査は保健管理センターの看護職が担当している。

二次検査は保健管理センターで実施しておらず、要精密検査の指示のあった者には、各自で専門医療機関を受診するよう指示している。保健管理センターへ個別に相談があった場合には、再検査や生活指導などのアドバイスを行い、必要に応じて医療機関を紹介している。

④胸部 X 線検査

検査は外部の業者に委託してレントゲン車で実施している。具体的な手順としては、検査受付でフィルム番号バーコードシールを X 線受診票に貼付し、パソコンを介して受診者番号とともにサーバに登録する。その日の検査終了後に、受付データを業者へ渡すと、2～3 週間後に検査結果がデータファイルで返却される。なお、40 歳以上の職員については、肺がん検診も兼ねるものとし、ハイリスク者及び希望者には喀痰検査(検査容器は事前配付し、受診時に提出)も行っている。また、一次検査の結果「要精査」と判定された有所見者については、保健管理センターの医師が前回までの結果(既往歴の有無など)を確認した上で、必要に応じて、かかりつけ医あるいは大学周辺の医療機関への紹介を行っている。

⑤聴力検査

聴力検査は、オージオメーター 1 台を用いて測定している。現在使用しているオージオメーターは自動入力システムに対応していないため、他の検査と同様に問診票に印刷された受診者バーコードをスキヤナ

ーで読み取り、検査結果はパソコンの入力フォームに従ってバーコード操作で健康診断用サーバデータを蓄積している。検査要員として、パソコン操作及び測定結果の問診票への転記のために、看護職スタッフを1名雇用している。スクリーニングの基準は、1000Hz30dB、4000Hz40dBのレベルで判定している。なお、二次検査は保健管理センターでは実施しておらず、要精密検査の指示のあった者には、各自でかかりつけの医療機関を受診するよう指示するか、個別に相談のあった場合には、専門医療機関への紹介を行っている。

⑥視力検査

測定には全自動視力計(デック NV300 およびデック NV350N)を2台用いて行い、ノート型パソコン1台で測定器2台を操作する方法で行っている。検査要員として、パソコン操作及び測定結果の問診票への転記のために各事業場の職員担当部署職員(H27年度は学外雇用者)を1名配置している。

⑦心電図検査

方法は、自動解析付心電計(フクダ電子 FCP-5000、日本光電 ECG-2550)1台及びベット2台を用いて実施しており、保健管理センター看護職1名、介助者1名を雇用して検査を行っている。心電図検査については、現在、自動入力システムには対応していない。健康診断当日に診察担当医が所見の判定を行っているが、必要に応じて、附属病院循環器内科専門医が有所見者の事後措置判定を行っている。なお、二次検査は保健管理センターでは実施しておらず、要精密検査の指示のあった者には、各自でかかりつけの医療機関を受診するか、個別に相談のあった場合には、必要に応じて専門医療機関への紹介を行っている。

⑧血液検査

平成17年度から、受付時に受診者番号と採血番号を結び付けて自動取得するシステムを構築して運用している。具体的には、①受診者が受付に持参した問診票に印刷してある受診者バーコードを受付用パソコンにスキャナーで入力する。②採血対象者には受診日ごとに1番から連番で採血番号が付され、ラベルプリンタから採血ラベル(採血番号・採血年月日・氏名)が印刷される(問診票にクリップで添付)。③採血時に受診者が持参した採血ラベルを採血管に貼付して回収する、という方法である。このシステムを導入したことによるメリットとして、①事前の物品準備(採血管と採血ラベルへの番号記入)が不要になった。②受付作業がスムーズになった(採血ラベルへの日付印・氏名転記が不要)、③検体の取り違えの危険性がなくなった(採血時に本人の目の前で氏名のシールを貼付)、④予定外の受診者数にも対応可能など、多くの面で業務の効率化が図れた。

採血業務は各地区ともに2人体制で実施しており、臨時雇用看護師および附属病院看護師(小串地区のみ)が担当している。なお、小串地区(医学部・附属病院)では、多人数に対し短期間で健診を実施するため、医療従事者については病棟等での自己採血制度を設けている。具体的手順は、希望者にあらかじめ採血セット(注射器、採血管、氏名ラベルバーコード)を配付し、受診日当日に採血した検体を健診会場受付に持参してもらっている。健診実施側と受診者側の双方にとって、健診にかかる時間短縮などの面でメリットがある。検査は、外部業者へ委託して実施しており、検査結果は電子データで報告してもらっている。

なお、二次検査は保健管理センターでは実施しておらず、要精密検査の指示のあった者には、各自でかかりつけの医療機関を受診するか、専門医療機関への紹介を行っている。個別に相談のあった場合には、異常値の程度に応じて生活指導をしたり、必要な情報の提供を行っている。

⑨腹囲測定

平成20年度より追加された項目である。手順としては、より計測の正確性を高めるため、心電図検査の直前に更衣を済ませた状態で、保健管理センター看護職あるいは学外雇用者がメジャーを用いて計測している。測定結果は問診票に転記し、健診終了後に数値を手入力している。

3) 受診状況

(1) 職員健康診断概況

平成 26 年度及び平成 27 年度の職員健康診断受診状況を表 3～4 に示した。受診者は、保健管理センターで受診した者の他に、雇入時健康診断、人間ドック、その他健康診断の結果を提出した者の総数である。

平成 20 年度の学内規則改正で、職員健康診断の受診義務及び未受診者への措置が明記されたことにより、受診率が大幅に上昇した。全体的にも健康診断受診の意識は高まっていると考えられ、平成 24 年度からは 99% 台となり、平成 26 年度は 99.4%、平成 27 年度は 99.8% と 100% とは言わないまでも高水準を維持している。平成 23 年度からは、未受診者への対応として、総括安全衛生管理者から未受診者の管理監督者宛に、当該年度の健康診断結果の提出がなかった旨を報告し、次年度の健康診断受診を指導するよう勧告文書を送付している。

また、健診受診者の事後措置に対するフォローアップを充実させるため、要精査以上(要医療・要治療)判定区分であった者に対し、二次検査結果の報告を強く求めることとしている。平成 27 年度から二次健康診断等給付についても積極的にアナウンスし、二次精査受診を促した。二次検査結果報告の義務は定めておらず、就業上の配慮について検討するため、要医療及び要治療判定区分であった者にはより強く(半強制的)、要精査判定区分であった者には、できる限り報告するよう協力と理解を求めている。今後は、さらなる受診率の向上を図るとともに、健診後のフォローアップについても充実させ、山口大学全体の心身の健康状態を高めるよう働きかけていく必要がある。

表 3 職員健康診断受診状況

平成 26 年度

		対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	未受診者(人)
吉 田	人文学部	56	53	94.6	3
	教育学部	120	119	99.2	1
	経済学部	95	92	96.8	3
	理学部	93	92	98.9	1
	農学部	69	69	100.0	0
	共同獣医学部	85	85	100.0	0
	事務局	325	324	99.7	1
	その他	108	105	97.2	3
	合計	951	939	98.7	12
常盤		387	382	98.7	5
小串		471	471	100.0	0
附属病院		1305	1305	100.0	0
附属学校		175	173	98.9	2
総計		3289	3270	99.4	19

表 4 職員健康診断受診状況

平成 27 年度

		対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	未受診者(人)
吉 田	人文学部	54	53	98.1	1
	教育学部	109	106	97.2	3
	経済学部	92	89	96.7	3
	理学部	93	92	98.9	1
	農学部	69	69	100.0	0
	共同獣医学部	88	88	100.0	0
	事務局	321	321	100.0	0
	その他	73	73	100.0	0
	合計	899	891	99.1	8
常盤		379	379	100.0	0
小串		488	488	100.0	0
附属病院		1342	1342	100.0	0
附属学校		178	178	100.0	0
総計		3324	3316	99.8	8

(2)身体計測 (BMI)

平成 26 年度及び平成 27 年度の BMI 値及び体脂肪率による判定結果を表 5～8 に示した。

男女別にみると、正常範囲であった者は、平成 26 年度及び平成 27 年度ともに約 6 割程度みられ、ここ数年同様の傾向を示している。また、低体重・体脂肪率低値では男女間で大きな差はみられず、年齢別にみると、若年者ほど低体重・体脂肪率低値の割合が高く、肥満の割合が低い傾向がみられた。

表 5 体格判定結果(事業場別)

平成 26 年度

事業場	受検者数	所見内訳				指導区分						
		低体重・体脂肪率低値	適正体重	過体重・過体重傾向	肥満・肥満傾向	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	664	147	350	115	52				37	239	92	296
常盤	274	44	154	48	28				25	94	30	125
小串・附属病院	1535	335	882	175	143				70	449	168	848
附属学校	76	8	55	9	4				3	16	6	51
合計	2549	534	1441	347	227				135	798	296	1320

表 6 体格判定結果(年齢別・性別)

平成 26 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳				指導区分						
			低体重・体脂肪率低値	適正体重	過体重・過体重傾向	肥満・肥満傾向	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	105	27	56	15	7				3	30	16	56
	女	348	104	190	17	37				8	109	41	190
	計	453	131	246	32	44				11	139	57	246
30～39	男	332	64	193	53	22				12	78	50	192
	女	450	126	256	21	47				11	139	44	256
	計	782	190	449	74	69				23	217	94	448
40～49	男	340	42	182	101	15				40	127	38	135
	女	366	82	227	15	42				11	91	37	227
	計	706	124	409	116	57				51	218	75	362
50～59	男	227	28	119	65	15				21	106	26	74
	女	213	31	127	23	32				11	53	24	125
	計	440	59	246	88	47				32	159	50	199
60～	男	122	21	71	28	2				13	48	16	45
	女	46	9	20	9	8				5	17	4	20
	計	168	30	91	37	10				18	65	20	65
合計	男	1126	182	621	262	61				89	389	146	502
	女	1423	352	820	85	166				46	409	150	818
	計	2549	534	1441	347	227				135	798	296	1320

表 7 体格判定結果(事業場別)

平成 27 年度

事業場	受検者数	所見内訳				指導区分						
		低体重・体脂肪率低値	適正体重	過体重・過体重傾向	肥満・肥満傾向	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	685	163	368	105	49				34	226	97	328
常盤	293	41	170	63	19				27	102	22	142
小串・附属病院	1566	303	778	140	345				67	482	273	744
附属学校	129	15	81	19	14				3	34	13	79
合計	2673	522	1397	327	427				131	844	405	1293

表 8 体格判定結果(年齢別・性別)

平成 27 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳				指導区分					
			低体重・体脂肪率低値	適正体重	過体重・過体重傾向	肥満・肥満傾向	a1	b1	c1	c2	d2	d3
～29	男	100	33	52	12	3			3	23	22	52
	女	343	90	171	10	72			6	115	51	171
	計	443	123	223	22	75			9	138	73	223
30～39	男	335	75	187	59	14			10	80	60	185
	女	494	130	245	14	105			9	171	69	245
	計	829	205	432	73	119			19	251	129	430
40～49	男	345	36	200	97	12			37	122	29	157
	女	402	76	210	13	103			12	103	78	209
	計	747	112	410	110	115			49	225	107	366
50～59	男	234	25	133	67	9			21	92	23	98
	女	229	30	104	13	82			12	63	51	103
	計	463	55	237	80	91			33	155	74	201
60～	男	125	16	68	35	6			13	54	12	46
	女	66	11	27	7	21			8	21	10	27
	計	191	27	95	42	27			21	75	22	73
合計	男	1139	185	640	270	44			84	371	146	538
	女	1534	337	757	57	383			47	473	259	755
	計	2673	522	1397	327	427			131	844	405	1293

(3) 腹囲計測

平成 26 年度及び平成 27 年度の腹囲判定結果を表 9～12 に示した。

男女別にみると、正常範囲であった者は、平成 26 年度及び平成 27 年度ともに男性では約 5 割程度だが、女性では 9 割以上の方でみられ、ここ数年同様の傾向を示している。年齢別にみると、若年者ほどやせの割合が高く、40 歳以上になると腹囲異常の割合が高い傾向がみられた。

表 9 腹囲判定結果(事業場別)

平成 26 年度

事業場	受検者数	所見内訳			指導区分						
		適正範囲	腹囲増加傾向	腹囲増加	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	425	279	118	28				28	118		279
常盤	190	113	53	24				24	53		113
小串・附属病院	751	599	107	45				45	107		599
附属学校	47	38	6	3				3	6		38
合計	1413	1029	284	100				100	284		1029

表 10 腹囲判定結果(年齢別・性別)

平成 26 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳			指導区分					
			適正範囲	腹囲増加傾向	腹囲増加	a1	b1	c1	c2	d2	d3
～29	男	2		2					2		
	女	2	2								
	計	4	2	2				2			
30～39	男	42	32	7	3			3	7		32
	女	54	52	1	1			1	1		52
	計	96	84	8	4			4	8		84
40～49	男	340	191	110	39			39	110		191
	女	366	349	8	9			9	8		349
	計	706	540	118	48			48	118		540
50～59	男	227	109	97	21			21	97		109
	女	213	192	12	9			9	12		192
	計	440	301	109	30			30	109		301
60～	男	121	65	43	13			13	43		65
	女	46	37	4	5			5	4		37
	計	167	102	47	18			18	47		102
合計	男	732	397	259	76			76	259		397
	女	681	632	25	24			24	25		632
	計	1413	1029	284	100			100	284		1029

表 11 腹囲判定結果(事業場別)

平成 27 年度

事業場	受検者数	所見内訳			指導区分							
		適正範囲	腹囲増加傾向	腹囲増加	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3	
吉田	450	322	100	28				28	100			322
常盤	214	129	60	25				25	60			129
小串・附属病院	756	599	112	45				45	112			599
附属学校	80	63	14	3				3	14			63
合計	1500	1113	286	101				101	286			1113

表 12 腹囲判定結果(年齢別・性別)

平成 27 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳			指導区分						
			適正範囲	腹囲増加傾向	腹囲増加	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男											
	女	2	2									2
	計	2	2									2
30～39	男	45	30	12	3				3	12		30
	女	56	54	2						2		54
	計	101	84	14	3				3	14		84
40～49	男	344	203	103	38				38	103		203
	女	400	377	14	9				9	14		377
	計	744	580	117	47				47	117		580
50～59	男	234	129	85	20				20	85		129
	女	229	203	15	11				11	15		203
	計	463	332	100	31				31	100		332
60～	男	125	64	48	13				13	48		64
	女	65	51	7	7				7	7		51
	計	190	115	55	20				20	55		115
合計	男	748	426	248	74				74	248		426
	女	752	687	38	27				27	38		687
	計	1500	1113	286	101				101	286		1113

(4) 血圧測定

平成 26 年度及び平成 27 年度の血圧測定結果を表 13～16 に示した。

男女別にみると、各年度ともに、概ね 8 割以上の方は適正血圧に該当しているものの、男性と比較して女性の方が適正血圧の割合が多く、適正血圧を超えると、逆転して男性の比率が高くなる傾向がみられた。また、年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれて適正血圧の割合が低くなり、高血圧に該当する者の割合が増加する傾向がみられた。血圧値は、測定手順や測定環境の影響を少なからず受けることが考えられるため、健康診断時には服装や測定のタイミング、室温や緊張感を与えない雰囲気等の環境づくりにも配慮する必要がある。

表 13 血圧判定結果(事業場別)

平成 26 年度

事業場	受検者数	所見内訳					指導区分						
		低血圧	適正血圧	高血圧傾向	軽症高血圧	高血圧	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	664	1	553	51	24	35			34	25	52		553
常盤	274	0	223	21	16	14			11	19	21		223
小串・附属病院	1535	17	1312	111	55	40			29	66	128		1312
附属学校	76		66	5	2	3			3	2	5		66
合計	2549	18	2154	188	97	92			77	112	206	0	2154

表 14 血圧判定結果(年齢別・性別)

平成 26 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳					指導区分						
			低血圧	適正血圧	高血圧傾向	軽症高血圧	高血圧	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	105		95	5	4	1			1	4	5		95
	女	348	8	330	4	5	1		1	5	12		330	
	計	453	8	425	9	9	2		2	9	17	0	425	
30～39	男	332		286	31	7	8			7	8	31	286	
	女	450	8	428	10	4				4	18		428	
	計	782	8	714	41	11	8		7	12	49	0	714	
40～49	男	340		261	40	23	16			14	25	40	261	
	女	366	2	332	18	6	8		8	6	20		332	
	計	706	2	593	58	29	24		22	31	60	0	593	
50～59	男	227		155	30	20	22			19	23	30	155	
	女	213		159	26	12	16			13	15	26	159	
	計	440	0	314	56	32	38		32	38	56	0	314	
60～	男	122		77	19	12	14			10	16	19	77	
	女	46		31	5	4	6			4	6	5	31	
	計	168	0	108	24	16	20		14	22	24	0	108	
合計	男	1126	0	874	125	66	61			51	76	125	874	
	女	1423	18	1280	63	31	31			26	36	81	1280	
	計	2549	18	2154	188	97	92		77	112	206	0	2154	

表 15 血圧判定結果(事業場別)

平成 27 年度

事業場	受検者数	所見内訳					指導区分						
		低血圧	適正血圧	高血圧傾向	軽症高血圧	高血圧	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	685	4	585	46	20	30			30	20	50		585
常盤	293	1	226	28	20	18			17	21	29		226
小串・附属病院	1566	19	1347	105	55	40			40	55	124		1347
附属学校	129		116	6	4	3			3	4	6		116
合計	2673	24	2274	185	99	91			90	100	209	0	2274

表 16 血圧判定結果(年齢別・性別)

平成 27 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳					指導区分						
			低血圧	適正血圧	高血圧傾向	軽症高血圧	高血圧	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	100	1	93	5		1		1		6		93	
	女	343	7	325	6	4	1		1	4	13		325	
	計	443	8	418	11	4	2		2	4	19	0	418	
30～39	男	335		296	23	10	6		6	10	23		296	
	女	494	12	468	10	2	2		2	2	22		468	
	計	829	12	764	33	12	8		8	12	45	0	764	
40～49	男	345	1	263	39	25	17			17	25	40	263	
	女	402	2	366	15	11	8		8	11	17		366	
	計	747	3	629	54	36	25		25	36	57	0	629	
50～59	男	234		160	36	17	21			20	18	36	160	
	女	229	1	183	23	8	14			14	8	24	183	
	計	463	1	343	59	25	35		34	26	60	0	343	
60～	男	125		75	18	15	17			17	15	18	75	
	女	66		45	10	7	4			4	7	10	45	
	計	191	0	120	28	22	21		21	22	28	0	120	
合計	男	1139	2	887	121	67	62			61	68	123	887	
	女	1534	22	1387	64	32	29			29	32	86	1387	
	計	2673	24	2274	185	99	91		90	100	209	0	2274	

(5) 尿検査

平成 26 年度及び平成 27 年度の尿検査結果を表 17～20 に示した。

所見なしの者は、平成 26 年度及び平成 27 年度では 50%～60%であった。尿所見ありの内訳では潜血尿が最も多くなっている。その理由として、これまで女性で月経中の者については、潜血尿の所見があっても医師の判断で所見なしとしていたところを、平成 22 年度から有所見としてカウントし、所見を「尿所見異常(生理中)」として指導区分で便宜を図るよう変更されたことが影響していると思われる。なお、健診当日に尿検査を実施できない者については、後日でも検査を受検できるよう配慮している。

表 17 尿検査結果(事業場別)

平成 26 年度

事業場	受検者数	所見内訳				指導区分						
		なし	蛋白尿	糖尿	潜血尿	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	662	390	94	12	190			40	1	61	170	390
常盤	274	141	63	1	89			18	3	32	80	141
小串・附属病院	1532	833	230	24	558			83	9	276	331	833
附属学校	76	44	65		22			2		15	15	44
合計	2544	1408	452	37	859			143	13	384	596	1408

※蛋白尿・潜血尿は(±)以上、糖尿は(+)以上を所見ありとした。所見は延べ数

表 18 尿検査結果(年齢別・性別)

平成 26 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳				指導区分						
			なし	蛋白尿	糖尿	潜血尿	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	105	69	23		13			1		7	28	69
	女	348	172	76	2	129			17		78	81	172
	計	453	241	99	2	142			18	0	85	109	241
30～39	男	332	244	39	3	55			9	3	24	52	244
	女	449	217	79	6	189			29	4	93	106	217
	計	781	461	118	9	244			38	7	117	158	461
40～49	男	339	232	58	8	57			11	2	19	75	232
	女	365	153	47	7	190			30	1	88	93	153
	計	704	385	105	15	247			41	3	107	168	385
50～59	男	225	138	41	6	51			6	2	19	60	138
	女	213	93	16		113			22	1	37	60	93
	計	438	231	57	6	164			28	3	56	120	231
60～	男	122	72	17	4	36			10		14	26	72
	女	46	18	2	1	26			8		5	15	18
	計	168	90	19	5	62			18	0	19	41	90
合計	男	1123	755	178	21	212			37	7	83	241	755
	女	1421	653	220	16	647			106	6	301	355	653
	計	2544	1408	398	37	859			143	13	384	596	1408

表 19 尿検査結果(事業場別)

平成 27 年度

事業場	受検者数	所見内訳				指導区分						
		なし	蛋白尿	糖尿	潜血尿	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	683	424	79	12	199			44	1	56	158	424
常盤	290	184	32	4	78			15	1	27	63	184
小串・附属病院	1565	898	224	23	531			123	4	214	326	898
附属学校	127	80	12	2	39			13		17	17	80
合計	2665	1586	347	41	847			195	6	314	564	1586

※蛋白尿・潜血尿は(±)以上、糖尿は(+)以上を所見ありとした。所見は延べ数

表 20 尿検査結果(年齢別・性別)

平成 27 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳				指導区分						
			なし	蛋白尿	糖尿	潜血尿	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	100	77	15	2	7			3		2	18	77
	女	343	187	72	4	116			21	1	62	72	187
	計	443	264	87	6	123			24	1	64	72	264
30～39	男	335	251	41	5	49			10		15	59	251
	女	492	270	73	8	178			40	1	73	108	270
	計	827	521	114	13	227			50	1	88	167	521
40～49	男	344	263	35	5	48			15		13	53	263
	女	400	177	43	2	204			39	3	75	106	177
	計	744	440	78	2	252			54	3	88	159	440
50～59	男	233	162	28	7	45			10		13	48	162
	女	228	97	25	3	124			35		40	56	97
	計	461	259	53	10	169			45	0	53	104	259
60～	男	124	77	12	4	39			11	1	10	25	77
	女	66	25	3	1	37			11		11	19	25
	計	190	102	15	5	76			22	1	21	44	102
合計	男	1136	830	131	23	188			49	1	53	203	830
	女	1529	756	216	18	659			146	5	261	361	756
	計	2665	1586	347	41	847			195	6	314	564	1586

(6) 聴力検査

平成 26 年度及び平成 27 年度の聴力検査結果を表 21～24 に示した。

高齢になるにつれて、有所見者の割合が多くなっており、特に高音域難聴の所見を呈する者が目立っていた。聴力検査の所見には、検査環境が少なからず影響していると思われる。現時点においても、聴力検査を実施する部屋は、設備の都合上、完全に防音できていないため、検査時の周囲の環境次第では誤判定してしまうことが否定できない。なお、検査担当者に看護職を配置するなどして、操作手順上の精度は改善されたと思われるが、環境設備面に関しては、今後も引き続き、検査の正確性を確保するための工夫や配慮が必要と思われる。

表 21 聴力検査結果(事業場別)

平成 26 年度

事業場	受検者数	所見内訳								指導区分						
		正常		高音域聴力低下		低音域聴力低下		聴力低下		a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
		右	左	右	左	右	左	右	左							
吉田	662	628	622	19	27	3	5	12	8			10		39		613
常盤	274	259	257	9	11	1	0	5	6			3		17		254
小串・附属病院	1535	1507	1504	15	19	6	7	7	5			12		32		1491
附属学校	76	72	72	2	3	2	1	0	0			3		2		71
合計	2547	2466	2455	45	60	12	13	24	19			28	0	90	0	2429

表 22 聴力検査結果(年齢別・性別)

平成 26 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳								指導区分						
			正常		高音域聴力低下		低音域聴力低下		聴力低下		a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
			右	左	右	左	右	左	右	左							
～29	男	105	104	104					1	1				1		104	
	女	348	347	348					1					1		347	
	計	453	451	452	0	0	0	0	2	1			0	0	2	0	451
30～39	男	330	327	329		1	2		1			1		3		326	
	女	450	445	449	2		1	1	2			1		4		445	
	計	780	772	778	2	1	3	1	3	0		2	0	7	0	771	
40～49	男	340	330	327	5	10	1		4	3		3		14		323	
	女	366	364	360	2	6						2		5		359	
	計	706	694	687	7	16	1	0	4	3		5	0	19	0	682	
50～59	男	227	212	209	12	13	1	2	2	3		5		15		207	
	女	213	204	202	4	3	4	6	1	2		7		7		199	
	計	440	416	411	16	16	5	8	3	5		12	0	22	0	406	
60～	男	122	92	84	20	25	1	3	9	10		8		35		79	
	女	46	41	43		2	2	1	3			1		5		40	
	計	168	133	127	20	27	3	4	12	10		9	0	40	0	119	
合計	男	1124	1065	1053	37	49	5	5	17	17		17	0	68	0	1039	
	女	1423	1401	1402	8	11	7	8	7	2		11	0	22	0	1390	
	計	2547	2466	2455	45	60	12	13	24	19		28	0	90	0	2429	

表 23 聴力検査結果(事業場別)

平成 27 年度

事業場	受検者数	所見内訳								指導区分						
		正常		高音域聴力低下		低音域聴力低下		聴力低下		a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
		右	左	右	左	右	左	右	左							
吉田	684	636	648	22	22	14	5	12	9			17		41		626
常盤	291	277	275	8	11	1	1	5	4					20		271
小串・附属病院	1566	1534	1536	17	19	7	7	8	4			3		45		1518
附属学校	129	125	125	3	3			1	1			3		3		123
合計	2670	2572	2584	50	55	22	14	26	17			23	0	109	0	2538

表 24 聴力検査結果(年齢別・性別)

平成 27 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳								指導区分						
			正常		高音域聴力低下		低音域聴力低下		聴力低下		a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
			右	左	右	左	右	左	右	左							
～29	男	100	98	99			1		1	1		1		1		98	
	女	343	340	342			2	1	1		1		2		340		
	計	443	438	441	0	0	3	1	2	1		2	0	3	0	438	
30～39	男	334	327	329	2	2	3	1	2	2		2		8	324		
	女	494	490	494	2				2					4	490		
	計	828	817	823	4	2	3	1	4	2		2	0	12	0	814	
40～49	男	344	331	332	4	7	3	2	6	3		2		19	323		
	女	402	398	396	2	4	2	1	1					9	393		
	計	746	729	728	6	11	5	3	6	4		2	0	28	0	716	
50～59	男	234	216	218	13	12	1		4	4		4		19	211		
	女	229	220	219	6	6	2	2	1	2		5		9	215		
	計	463	436	437	19	18	3	2	5	6		9	0	28	0	426	
60～	男	125	93	92	21	23	5	6	6	4		7		33	85		
	女	65	59	63		1	3	1	3			1		5	59		
	計	190	152	155	21	24	8	7	9	4		8	0	38	0	144	
合計	男	1137	1065	1070	40	44	13	9	19	14		16	0	80	0	1041	
	女	1533	1507	1514	10	11	9	5	7	3		7	0	29	0	1497	
	計	2670	2572	2584	50	55	22	14	26	17		23	0	109	0	2538	

(7) 胸部 X 線検査

平成 26 年度及び平成 27 年度の胸部 X 線検査結果を表 25～28 に示した。

この 2 年間についても受検者数は多く、大学法人化以降、労働安全衛生法の適用を受け、健康診断受診に対する意識改革がより浸透してきた結果であると思われる。

受診者の増加に伴い、有所見者も増加する傾向がみられる。精密検査の対象者のうち肺野で異常所見が見られ、二次検査結果が判明した所見としては、陳旧性炎症、肺がん疑い、非結核性抗酸菌症などであった。また、肺野結節影と判定された所見に関しては、肺気腫、陳旧性炎症巣などがみられた。なお、この 2 年間についても新規の肺結核は発見されず、この 10 年間において定期健診での新規肺結核患者はみられなかった。

表 25 胸部 X 線検査結果(事業場別)

平成 26 年度

事業場	受検者数	所見内訳				指導区分						
		異常なし	肺野所見	肺野外所見	結核(疑い含)	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	662	637	23	2	0	0	0	13	12	0	0	637
常盤	270	258	12	0	0	0	0	5	0	7	0	258
小串・附属病院	1504	1449	52	3	0	0	0	30	0	25	0	1449
附属学校	74	71	3	0	0	0	1	0	0	2	0	71
合計	2510	2415	90	5	0	0	1	48	12	34	0	2415

表 26 胸部 X 線検査結果(年齢別・性別)

平成 26 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳				指導区分						
			異常なし	肺野所見	肺野外所見	結核(疑い含)	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	104	99	5				5				99	
	女	338	332	5	1			4		2		332	
	計	442	431	10	1	0	0	9	0	2	0	431	
30～39	男	332	328	4				2		2		328	
	女	425	419	6				4		2		419	
	計	757	747	10	0	0	0	6	0	4	0	747	
40～49	男	339	328	9	2			1	5	5		328	
	女	366	355	11				6	5			355	
	計	705	683	20	2	0	0	11	0	10	0	683	
50～59	男	226	210	16				10	6			210	
	女	211	196	14	1			5	10			196	
	計	437	406	30	1	0	0	15	0	16	0	406	
60～	男	123	107	15	1			5	11			107	
	女	46	41	5				2	3			41	
	計	169	148	20	1	0	0	7	0	14	0	148	
合計	男	1124	1072	49	3	0	0	1	27	0	24	0	1072
	女	1386	1343	41	2	0	0	0	21	0	22	0	1343
	計	2510	2415	90	5	0	0	1	48	0	46	0	2415

表 27 胸部 X 線検査結果(事業場別)

平成 27 年度

事業場	受検者数	所見内訳				指導区分						
		異常なし	肺野所見	肺野外所見	結核(疑い含)	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	671	635	36			1	19		16			635
常盤	291	277	12	2		6	1		7			277
小串・附属病院	1525	1471	53	1			20	1	33			1471
附属学校	125	120	5				2		3			120
合計	2612	2503	106	3	0	0	7	42	1	59	0	2503

表 28 胸部 X 線検査結果(年齢別・性別)

平成 27 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳				指導区分						
			異常なし	肺野所見	肺野外所見	結核(疑い含)	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	100	94	6				3		3		94	
	女	334	329	5			1	3		1		329	
	計	434	423	11	0	0	1	6	0	4	0	423	
30～39	男	335	330	5			2	3		0		330	
	女	451	443	8		0		3		5		443	
	計	786	773	13	0	0	2	6	0	5	0	773	
40～49	男	342	325	17			2	6		9		325	
	女	397	384	13		0		6		7		384	
	計	739	709	30	0	0	2	12	0	16	0	709	
50～59	男	233	212	20	1			9	1	11		212	
	女	229	216	13		0		2		11		216	
	計	462	428	33	1	0	0	11	1	22	0	428	
60～	男	125	111	13	1		2	6		6		111	
	女	66	59	6		0		1		6		59	
	計	191	170	19	2	0	0	2	7	0	12	0	170
合計	男	1135	1072	61	2	0	0	6	27	1	29	0	1072
	女	1477	1431	45	1	0	0	1	15	0	30	0	1431
	計	2612	2503	106	3	0	0	7	42	1	59	0	2503

(8) 血液検査

平成 26 年度及び平成 27 年度の血液検査結果を表 29～32 に示した。

検査項目は、末梢血検査(赤血球、白血球、ヘマトクリット、ヘモグロビン)、肝機能検査(GOT、GPT、 γ -GT)、脂質検査(LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪)、その他(血糖、血清アミラーゼ、尿酸)である。なお、本学では脂質検査として長年、総コレステロールを項目の 1 つとしていたが、平成 20 年度以降、特定健診開始及び労働安全衛生法改正に伴い、LDL コレステロールに変更した。また、平成 21 年度には、特定健診に併せて一部検査項目(末梢血、GOT、GPT、血清アミラーゼ)の基準値が変更されている。平成 25 年度には血小板、クレアチニン、T-CHO の項目も追加された。

また、平成 17 年度までは、血液検査の対象年齢を 35 歳及び 40 歳以上の者と、若年であっても医師の指示があった者としていたが、平成 18 年度以降、受診者の要望に応える形で予算が措置され、20 歳・25 歳・30 歳の節目年齢に加え、39 歳以下の希望者にも血液検査を実施することが可能となった。血液検査対象者の増加に伴い、健診当日の混雑や結果判定の整理にかかる作業量が増えたことも否めない。健診後の事後処理の効率化を図るため、平成 23 年に健診結果自動判定システムを構築・導入した。スムーズな運用のためには、まだ若干の改良が必要であるが、整理作業の簡略化は実現できたと思われる。

なお、平成 26 年度及び平成 27 年度ともに、基準値を外れた有所見者の割合は、LDL コレステロール、中性脂肪、 γ -GT の順で多い傾向がみられ、これは、前回調査期間(H24・H25)と同様の傾向であった。

表 29 血液検査結果(事業場別)

平成 26 年度

事業場	受検者数	有所見者数	指導区分							
			a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3	
吉田	588	血液一般(貧血等)	106		1	15	1	12	77	482
		肝機能	126	1	2	59	54	10		462
		脂質代謝	378	1	16	98	119	59	85	210
		糖代謝	90		3	14	15	58		498
		痛風	98		2	25	61		10	490
		腎機能	27				1	26		561
常盤	255	血液一般(貧血等)	51			9		11	31	204
		肝機能	46			24	19	3		209
		脂質代謝	144	7		34	64	15	24	111
		糖代謝	55		3	9	1	42		220
		痛風	40	1	1	10	22		8	215
		腎機能	8					8		247
小串・附属病院	1341	血液一般(貧血等)	214		6	34	2	45	127	1127
		肝機能	205		1	69	116	18	1	1136
		脂質代謝	824	1	23	147	262	127	264	517
		糖代謝	150		3	24	31	92		1191
		痛風	149			23	80		46	1192
		腎機能	64				1	63	0	1277
附属学校	66	血液一般(貧血等)	10			2		1	7	56
		肝機能	7			3	3	1		59
		脂質代謝	46		1	10	16	5	14	20
		糖代謝	5			2		3		61
		痛風	6			1	4		1	60
		腎機能	5					5		61
合計	2250	血液一般(貧血等)	381	0	7	60	3	69	242	1869
		肝機能	384	1	3	155	192	32	1	1866
		脂質代謝	1392	9	40	289	461	206	387	858
		糖代謝	300	0	9	49	47	195	0	1970
		痛風	293	1	3	59	167	0	65	1957
		腎機能	104	0	0	0	2	102	0	2146

表 30 血液検査結果(年齢別・性別)

平成 26 年度

年齢	性別	受検者数	有所見者数		指導区分								
					a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3		
~29	男	77	血液一般(貧血等)	5				1			4	72	
			肝機能	15	9	3		3			3	62	
			脂質代謝	44		2		6	13	14		33	
			糖代謝	16				1	1	14		61	
			痛風	14		1		3				2	63
			腎機能	3							3		74
	女	263	血液一般(貧血等)	33				5			8	20	230
			肝機能	20				4	13		2	1	243
			脂質代謝	155		1		14	26	34		80	108
			糖代謝	28				3	1	24			235
			痛風	13				2	1			10	250
			腎機能	11							11		252
30~39	男	231	血液一般(貧血等)	22				1			7	14	208
			肝機能	49				29	15		5		182
			脂質代謝	134		4		27	58	19		26	97
			糖代謝	34		1		7	2	24			197
			痛風	51				9	38			4	180
			腎機能	9							9		222
	女	370	血液一般(貧血等)	62				17			10	35	308
			肝機能	39				9	23		7		331
			脂質代謝	219	1	3		20	39	48		108	151
			糖代謝	31		2		5	2	22			339
			痛風	19					2			17	351
			腎機能	13							13		357
40~49	男	339	血液一般(貧血等)	98				3	1		13	31	291
			肝機能	89		1		49	34		5		250
			脂質代謝	225	1	14		65	81	32		32	114
			糖代謝	41		2		3	9	27			298
			痛風	98		1		25	66			6	241
			腎機能	10							10		329
	女	365	血液一般(貧血等)	84		4		19	1		11	49	281
			肝機能	33				6	24		3		332
			脂質代謝	220		5		28	62	26		99	145
			糖代謝	39				7	7	25			326
			痛風	16					1			15	249
			腎機能	12							12		0
50~59	男	226	血液一般(貧血等)	42				3	1		7	31	184
			肝機能	66				29	33		4		160
			脂質代謝	137		3		42	63	18		11	89
			糖代謝	44		2		4	13	25			182
			痛風	47				18	27			2	179
			腎機能	18					1		17		208
	女	212	血液一般(貧血等)	42		2		7			8	25	170
			肝機能	37				9	27		1	0	75
			脂質代謝	147		11		55	59	5		17	65
			糖代謝	21		1		3	6	11			191
			痛風	4					3			1	208
			腎機能	14							14		0
60~	男	121	血液一般(貧血等)	32				3			2	27	89
			肝機能	26	1	1		9	13		2		95
			脂質代謝	78		4		17	44	8		5	43
			糖代謝	38		1		13	5	19			83
			痛風	26				2	19			5	95
			腎機能	11							11		110
	女	46	血液一般(貧血等)	10				1			3	6	36
			肝機能	10		1		2	7				36
			脂質代謝	33				15	16	2			13
			糖代謝	8				3	1	4			38
			痛風	5					2			3	41
			腎機能	3					1	2			43

表 31 血液検査結果(事業場別)

平成 27 年度

事業場	受検者数	有所見者数	指導区分							
			a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3	
吉田	610	血液一般(貧血等)	115		1	17	6		58	495
		肝機能	113	1	2	42	56	9	3	497
		脂質代謝	404	1	16	84	135	66	102	206
		糖代謝	98	1	8	17	6	66		512
		痛風	84		1	24	47		12	526
		腎機能	37		1		1	35		573
常盤	276	血液一般(貧血等)	51			8		10	33	225
		肝機能	45		1	19	21	4		231
		脂質代謝	185		8	45	74	17	41	91
		糖代謝	65		3	10	6	46		211
		痛風	49		1	10	30		8	227
		腎機能	14					14		262
小串・附属病院	1423	血液一般(貧血等)	266		4	32		49	181	1157
		肝機能	232	1	1	76	124	28	2	1191
		脂質代謝	875		27	175	270	128	275	548
		糖代謝	145		7	20	24	92	2	1278
		痛風	144			29	64		51	1279
		腎機能	66					66		1357
附属学校	112	血液一般(貧血等)	13		1			3	9	99
		肝機能	15			9	5		1	97
		脂質代謝	76		5	17	34	3	17	36
		糖代謝	11		2		2	7		101
		痛風	14			6	4		4	98
		腎機能	10					10		102
合計	2421	血液一般(貧血等)	445		6	57	6	62	281	1976
		肝機能	405	2	4	146	206	41	6	2016
		脂質代謝	1540	1	56	321	513	214	435	881
		糖代謝	319	1	20	47	38	211	2	2102
		痛風	291		2	69	145		75	2130
		腎機能	127		1		1	125		2294

表 32 血液検査結果(年齢別・性別)

平成 27 年度

年齢	性別	受検者数	有所見者数		指導区分						
					a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
~29	男	77	血液一般(貧血等)	8					2	6	69
			肝機能	10			3	4	3		67
			脂質代謝	39		2	5	9	10	13	38
			糖代謝	14	1	3	1		9		63
			痛風	16			4	11		1	61
	腎機能	7						7		70	
	女	279	血液一般(貧血等)	47			3		10	34	232
			肝機能	17			1	8	6	2	262
			脂質代謝	153		1	13	28	24	87	126
			糖代謝	23	1	5	1		16		256
痛風			9			1				8	270
腎機能	14						14		265		
30~39	男	250	血液一般(貧血等)	27					7	20	223
			肝機能	57			30	26	1		193
			脂質代謝	162		8	39	62	22	31	88
			糖代謝	27	1	3	2		21		223
			痛風	54			22	26			6
	腎機能	6						6		244	
	女	421	血液一般(貧血等)	96			14		21	61	325
			肝機能	39			6	24	9		382
			脂質代謝	255		5	17	57	51	125	166
			糖代謝	49	2	5	2	39	1		372
痛風			19				1			18	402
腎機能	31						31		390		
40~49	男	344	血液一般(貧血等)	40			3		11	26	304
			肝機能	98		2	55	38	2	1	246
			脂質代謝	231		14	66	95	34	22	113
			糖代謝	53		5	7	8	33		291
			痛風	90	1	25	59			5	254
	腎機能	16						16		328	
	女	400	血液一般(貧血等)	88		4	23		8	53	312
			肝機能	47			5	30	9	3	353
			脂質代謝	251		4	41	79	26	101	149
			糖代謝	47	3	9	4	31			353
痛風			22							22	378
腎機能	14						14		386		
50~59	男	234	血液一般(貧血等)	49			6		11	32	185
			肝機能	58		2	30	20	6		176
			脂質代謝	163		7	39	70	28	19	71
			糖代謝	43		5	8	6	23	1	191
			痛風	52	1	15	32			4	182
	腎機能	12	1			1	10			222	
	女	227	血液一般(貧血等)	59		1	6		7	45	168
			肝機能	38		1	6	30	1		189
			脂質代謝	169		12	57	63	10	27	58
			糖代謝	18				5	13		209
痛風			5			1	1			3	222
腎機能	12						12		215		
60~	男	123	血液一般(貧血等)	19			3			16	104
			肝機能	26	1		6	16	3		97
			脂質代謝	76	1	1	21	35	9	9	47
			糖代謝	34	1	1	5	6	21		89
			痛風	22			1	15			6
	腎機能	13						13		110	
	女	66	血液一般(貧血等)	12			1		3	8	54
			肝機能	15			4	10	1		51
			脂質代謝	41		2	23	15		1	25
			糖代謝	11	1	2	3	5			55
痛風			2							2	64
腎機能	2						2		64		

(9) 心電図検査

平成 26 年度及び平成 27 年度の心電図検査結果を表 33～36 に示した。表中の数字は、各所見に該当する有所見者の人数を延べ数で示している。

心電図検査は、原則として 35 歳及び 40 歳以上の者を実施しているが、39 歳未満の者でも、診察時に医師から指示があった者については検査を実施している。心電図所見の確定と指導区分は、平成 22 年度から、より効率良く判定を行うため、診察医が必要と認めた場合には、保健管理センター非常勤医師(循環器専門医)に判定を依頼している。受検者数は年々増加しているものの、有所見者数はそれに伴って増加する傾向はみられていない。

表 33 心電図検査結果(事業場別)

平成 26 年度

事業場	受検者数	所見内訳						指導区分						
		正常範囲内	ST-T変化	Q波	高電位	不整脈	その他所見	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	427	326	8		1	9	83			2		33	66	326
常盤	191	155	4		2	9	21			2		19	15	155
小串・附属病院	757	603	14	2	1	11	126			16		88	50	603
附属学校	47	36				1	10					1	10	36
合計	1422	1120	26	2	4	30	240	0	0	20	0	141	141	1120

※ ST-T 変化には、ST 低下(上昇)・陰性 T・平低 T・高い T 波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW 症候群・ブルガダ症候群を含む

表 34 心電図検査結果(年齢別・性別)

平成 26 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳						指導区分						
			正常範囲内	ST-T変化	Q波	高電位	不整脈	その他所見	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	2	2											2	
	女	6	4	1				1		2				4	
	計	8	6	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	6	
30～39	男	43	38					5		1		3	1	38	
	女	57	43	1				12		3		7	4	43	
	計	100	81	1	0	0	1	17	0	4	0	10	5	81	
40～49	男	340	286	3		1	3	47		4		17	33	286	
	女	366	301	9			7	49		2		35	28	301	
	計	706	587	12	0	1	10	96	0	6	0	52	61	587	
50～59	男	227	159	4	1	1	6	56		3		33	32	159	
	女	213	172	5	1	1	5	29		3		20	18	172	
	計	440	331	9	2	2	11	85	0	6	0	53	50	331	
60～	男	122	79	2		1	8	32		2		22	19	79	
	女	46	36	1				9				4	6	36	
	計	168	115	3	0	1	8	41	0	2	0	26	25	115	
合計	男	734	564	9	1	3	17	140	0	0	10	0	75	85	564
	女	688	556	17	1	1	13	100	0	0	10	0	66	56	556
	計	1422	1120	26	2	4	30	240	0	0	20	0	141	141	1120

表 35 心電図検査結果(事業場別)

平成 27 年度

事業場	受検者数	所見内訳						指導区分						
		正常範囲内	ST-T変化	Q波	高電位	不整脈	その他所見	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	451	337	9	2	1	9	106			6		12	103	330
常盤	214	151	5		1	7	65			6	2	13	42	151
小串・附属病院	763	652	37			17	68		1	13		83	18	648
附属学校	80	67			2		13			1		1	13	65
合計	1508	1207	51	2	4	33	252	0	1	26	2	109	176	1194

※ ST-T 変化には、ST 低下(上昇)・陰性 T・平低 T・高い T 波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW 症候群・ブルガダ症候群を含む

表 36 心電図検査結果(年齢別・性別)

平成 27 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳						指導区分					
			正常範囲内	ST-T変化	Q波	高電位	不整脈	その他所見	a1	b1	c1	c2	d2	d3
~29	男													
	女	3	2				1					1		2
	計	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
30~39	男	46	36	1			3	8			2	3	5	36
	女	60	49	2			2	8			1	4	7	48
	計	106	85	3	0	0	5	16	0	0	3	0	7	84
40~49	男	344	288	5		1	5	50			3	16	41	284
	女	401	318	20			8	63			6	42	37	316
	計	745	606	25	0	1	13	113	0	0	9	0	58	600
50~59	男	234	181	4	1	2	5	48			5	2	13	178
	女	229	195	13			1	22			3	17	15	194
	計	463	376	17	1	2	6	70	0	0	8	2	30	372
60~	男	125	86	3	1	1	6	43		1	4	9	27	84
	女	66	52	3			3	9			2	4	8	52
	計	191	138	6	1	1	9	52	0	1	6	0	13	136
合計	男	749	591	13	2	4	19	149	0	1	14	2	41	582
	女	759	616	38	0	0	14	103	0	0	12	0	68	612
	計	1508	1207	51	2	4	33	252	0	1	26	2	109	1194

2. 特定業務従事者健康診断

1) 対象と概要

保健管理センターでは、労働安全衛生規則第 45 条に基づき、年に 2 回、規定の業務(労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号*)に従事する職員に対し、特定業務従事者健康診断を行っている。

各地区の実施時期、及び実施場所は表 37 のとおりであるが、健診項目は定期健康診断と同様のため、第 1 回目は定期健康診断と合わせて行っている。また、第 2 回目の項目は、身長・体重、血圧、視力、聴力、尿検査であり、胸部 X 線検査、血液検査、心電図検査は医師の判断により省略可能としているが、必要に応じて行う場合もある。

平成 26 年度、27 年度における各事業場の該当者数(延べ数)は、表 38～39 のとおりである。

表 37 各地区の実施日および実施場所

地区名	実施時期				実施場所
	平成 26 年度		平成 27 年度		
	1 回目	2 回目	1 回目	2 回目	
吉田	8 月下旬	2 月中旬	8 月上旬	2 月上旬	保健管理センター
常盤	9 月下旬	2 月上旬	9 月上旬	2 月上旬	工学部保健室(保健管理センター工学部分室)
小串	9 月中旬	3 月上旬	9 月下旬	3 月上旬	医学部医心館(保健管理センター医学部分室)

表 38 特定業務従事者健康診断対象者

平成 26 年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	1	6	5	0	0	0	0	0	2	13	4	18	32
常盤	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	10	0	0	12
小串	0	0	8	2	0	0	0	0	0	7	2	0	9	28
附病	0	13	70	1	0	0	12	1	0	688	0	5	161	951
附学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 39 特定業務従事者健康診断対象者

平成 27 年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	1	17	17	0	0	1	0	0	2	15	12	7	36
常盤	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	13	0	0	15
小串	0	0	9	5	0	0	0	0	0	7	1	1	9	32
附病	0	6	59	1	0	0	15	3	0	723	5	2	148	962
附学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号

イ	多量の高熱物体を取り扱う業務及び著しく暑熱な場所における業務
ロ	多量の低温物体を取り扱う業務及び著しく寒冷な場所における業務
ハ	ラジウム放射線、エックス線その他の有害放射線にさらされる業務
ニ	土石、獣毛等のじんあい又は粉末を著しく飛散する場所における業務
ホ	異常気圧下における業務
ヘ	さく岩機、鋸打機等の使用によって、身体に著しい振動を与える業務
ト	重量物の取扱い等重激な業務
チ	ボイラー製造等強烈な騒音を発する場所における業務
リ	坑内における業務
ヌ	深夜業を含む業務
ル	水銀、砒素、黄りん、弗化水素酸、塩酸、硝酸、硫酸、青酸、か性アルカリ、石炭酸 その他これらに準ずる有害物を取り扱う業務
ヲ	鉛、水銀、クロム、砒素、黄りん、弗化水素、塩素、塩酸、硝酸、亜硫酸、硫酸、一酸化炭素、二硫化炭素、青酸、ベンゼン、アニリンその他これらに準ずる有害物のガス、蒸気又は粉じんを放散する場所における業務
ワ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務

2) 方法と手順

対象者の調査に関しては、例年7～8月頃、健康診断の希望項目(便潜血反応検査、喀痰検査等)の調査と合わせて、安全衛生対策室及び各部局の健康診断担当係が実施している。調査内容は有害業務従事の有無、従事している場合は、その業務内容及び頻度、そして複数該当する場合は、主として従事する有害業務は何か、である。調査結果は各事業場の健康診断担当係及び専任衛生管理者等が確認し、主に週1回以上、有害業務に従事していると回答した者を対象に、健康診断を実施している。

実施方法は、ほぼ定期健康診断と同様であり、対象者に事前に問診票を送付し、健診当日までに記入し持参するよう指示している。しかし、受診者が少ない場合は事前に配布せず、健康診断時受診時に記入してもらうこともある。

また、附属病院の特定業務従事者(看護師)は各病棟で必要な検査を行い、検査結果を問診票に記入して保健管理センターに送付してもらっている。各検査結果と問診票の記載内容は保健管理センター医師が確認し、有所見者には指定された期間に保健管理センターで診察を受けるよう指示している。本来であれば全員に診察をすることが望ましいが、限られた人員と日数で行っているため、対象を絞って実施せざるを得ないのが現状である。

3) 受診状況

平成26年度及び27年度の特定業務従事者健康診断の受診状況を、表40～41に示した。表中の数字は、各検査の有所見者数を示している。なお、前述のとおり、第1回の特定業務従事者健康診断実施状況は、定期健康診断と合わせて実施しているため、ここでは第2回目だけの受診状況を示す。

なお、職員に関する健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者がとりまとめた上で、所轄の労働基準監督署に報告している。

表 40 第2回特定業務従事者健康診断 受診状況

平成 26 年度

	受診者	有所見者数					有所見者数	要精査
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	血圧	尿糖	尿蛋白		
吉田	31	0	0	7	0	0	16	1
常盤	12	0	1	0	0	1	2	0
小串	24	0	0	6	2	3	11	7
附病	905	0	0	56	5	4	64	22
合計	972	0	1	69	7	8	93	30

表 41 第2回特定業務従事者健康診断 受診状況

平成 27 年度

	受診者	有所見者数					有所見者数	要精査
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	血圧	尿糖	尿蛋白		
吉田	38	0	0	8	1	0	10	0
常盤	15	0	1	0	0	0	1	0
小串	30	0	0	4	1	1	10	3
附病	931	1	2	54	5	22	84	3
合計	1014	1	3	66	7	23	105	6

3. 特殊健康診断(電離放射線健康診断)

1) 対象と概要

山口大学では、放射線障害防止法、電離放射線障害防止規則を踏まえた山口大学放射線障害予防規程に基づき、放射線取扱者となるための登録（更新含む）の申請を行った職員及び学生を対象として電離放射線健康診断を実施している。このうち、保健管理センターは、医学部付属病院所属職員を除く健康診断実施を担当しており、この健康診断を受診することは、学内で放射線を取り扱うための必須条件である。なお、附属病院や外部医療機関にてこれと同等の健康診断を受診し、その結果を提出することでも、保健管理センターでの受診に代えることができる。

健康診断は年2回実施しており、実施時期は原則として第1回目は7月上旬、第2回目は2月上旬である。しかし、小串事業場や吉田事業場の一部では、定期の健康診断実施期間外の4月や10～11月に臨時で健康診断を実施することがある。これは、特段の事情により定期の実施期間以前から放射線業務に従事する必要がある（新規・中途採用者や急な実験がある等の）場合の例外的措置である。

健康診断の実施項目は、表42に示すとおりである。新規受診者には法定の検査項目を実施しているが、定期受診者では被ばく歴や自覚症状等の調査結果のもと、法令等に基づく医師の判断により検査項目を省略することもできる。

表42 放射線健康診断 法定検査項目

	被ばく歴 自覚症状等の調査	血液※	皮膚	白内障
新規受診	○	○	○	△
定期受診	○	△	△	△

※白血球数及び白血球百分率の検査、赤血球数及び血色素量又はヘマトクリット値の検査

○：必須項目 △：法令等に基づき医師の判断により省略することができる項目

2) 方法と手順

健康診断に先立ち、問診票の配布を行う。問診票は各事業場の健康診断担当係が配布し、本人による記入、責任者による内容をチェックの後、担当係が回収し、保健管理センターに送付される。

この問診票をもとに、保健管理センター医師が被ばく歴や自覚症状、過去の検査結果や本人の検査希望等をチェックし、検査項目省略の可否を決定している。検査（血液・皮膚等）実施対象者には、指定された日に保健管理センターを受診するよう、担当係より通知される。

検査結果は、担当係を通じて対象者へ通知される。有所見者に対しては、必要に応じて外部医療機関を紹介し、また必要に応じ管理者や関連委員会に報告等を行っている。なお、職員に関する健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者がとりまとめ、産業医の確認をうけた上で、安全衛生対策室を通じ所轄の労働基準監督署に報告している。

3) 受診状況

平成26年度及び平成27年度の放射線健康診断受診状況を表43～46に示した。第1回目は4～9月に、第2回目は10～3月に実施した定期および臨時の健康診断での総計である。（受診者数は外部医療機関での検査結果を提出した者も含めた数である。）なお、毎年度第1回は検査対象者（省略不可判定者）数が第2回に比べ多い傾向にあるが、構成員の入れ替わりにより新規登録者が多いことが主要因である。

表 43 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 平成 26 年度

		従事者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	71	54	17	17	1
	学生	156	97	59	59	4
常盤	職員	31	24	7	7	0
	学生	174	101	73	73	2
小串	職員	86	76	10	9(※未受診 1)	0
	学生	28	13	15	15	0
合計	職員	188	154	34	33	1
	学生	358	211	147	147	6

表 44 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 平成 26 年度

		従事者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	69	56	13	13	0
	学生	158	151	7	7	0
常盤	職員	29	29	0	-	-
	学生	168	168	0	-	-
小串	職員	83	77	6	5(※未受診 1)	0
	学生	28	27	1	1	0
合計	職員	181	162	19	18	0
	学生	354	346	8	8	0

表 45 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 平成 27 年度

		従事者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	68	52	16	16	4
	学生	145	84	61	58(※未受診 3)	8
常盤	職員	30	26	4	4	0
	学生	192	98	94	94	10
小串	職員	86	76	10	10	1
	学生	23	9	14	10(※未受診 4)	1
合計	職員	184	154	30	30	5
	学生	360	191	169	162	19

表 46 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 平成 27 年度

		従事者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	71	59	12	12	4
	学生	148	122	26	26	6
常盤	職員	29	29	0	-	-
	学生	181	169	12	12	6
小串	職員	87	86	1	1	0
	学生	21	17	4	3(※未受診 1)	2
合計	職員	187	174	13	13	4
	学生	350	308	42	41	14

4. 特殊健康診断(有機溶剤・特定化学物質)

1) 対象と概要

有機溶剤中毒予防規則(以下有機則)、及び特定化学物質等障害予防規則(以下特化則)等に基づき、規定された薬品を常時取り扱う職員を対象に、年2回、特殊健康診断を実施している。

実施時期に関しては、基本的に放射線健康診断と同様の7月上旬頃(第1回)、2月上旬頃(第2回)であるが、事業場によって多少異なっている。健康診断項目は、薬品ごとに異なるため、それぞれの規則に定められている検査項目に従っている。

大学は企業とは違い、少量多種の薬品を取り扱い、使用方法や、使用頻度が一定ではないことなどから、対象者の選定は特に困難である。また、取り扱う薬品によって求められる検査項目が異なるため、健康診断の準備や事後整理が複雑であるが、受診者一人一人の状況を確認しながら実施している。

2) 方法と手順

健康診断に先立ち有機溶剤及び特定化学物質の使用状況を Web 調査もしくは紙媒体による調査を行う。なお、週に1回以上使用していることを目安に対象者を選定しているが、週1回未満の使用状況でも健康診断受診を希望する者には、健診を実施することになっている。

また、使用薬品によって問診項目や検査項目が異なることから、健康診断当日までに各受診者に対応した内容の問診票を作成している。他の健診に比べて対象者が少ないため、問診票は事前に配布せず、健康診断受診の際に手渡し、それぞれに必要な検査項目を受診してもらっている。

なお、対象者の中には、特定業務従事者健康診断の有害業務と重複し、複数回受診が必要な者もいる。受診項目の混乱を避けるため、特定業務従事者健康診断と特殊健康診断は別日程で計画しているが、人数が少ない場合は、受診者の負担軽減のために、同時に実施する場合もある。

3) 受診状況

平成26年度及び平成27年度の有機溶剤健康診断・特定化学物質健康診断の実施人数及び結果を表47～54に示した。表中の数字は、各検査における受診者数を示しているが、特化則の改正で、平成26年11月よりクロロホルム他9物質が有機溶剤から特定化学物質に移行したため、特定化学物質健康診断の受診者が平成26年第2回より若干名増えている。有所見者数は、診察での他覚所見を除く実施項目で要精査以上に該当する所見があった者の数である。受診対象者の業務内容は、いずれも試験研究である。

なお、これらの健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者が取りまとめた上で、所轄の労働基準監督署に報告している。

表47 第1回有機溶剤健康診断実施結果(単位:人) 平成26年度

	従事労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	12	11	11	11	0	0	0	0
常盤	5	5	5	5	0	2	1	1
小串	8	8	8	8	0	1	6	0
附属病院	7	7	7	7	0	0	6	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表48 第2回有機溶剤健康診断実施結果(単位:人) 平成26年度

	従事労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	9	9	9	9	0	0	0	0
常盤	10	10	10	10	0	0	0	1
小串	8	8	8	8	0	0	5	0
附属病院	7	7	7	7	0	0	6	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 49 第 1 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 平成 27 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	10	10	10	10	0	0	1	0
常盤	11	11	11	11	0	4	3	1
小串	8	8	8	8	0	1	5	1
附属病院	8	8	9	9	0	0	8	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 50 第 2 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 平成 27 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	11	11	11	11	0	0	1	0
常盤	13	13	13	13	2	5	5	0
小串	7	7	7	7	0	0	3	0
附属病院	7	7	7	7	0	0	6	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 51 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果（単位：人） 平成 26 年度

業務コード	002	104	211	221	230	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	ホルトリジン (過去)	クロム酸 (過去)	重加酸 (過去)	ベンゼン	
小串	1	1	2	2	1	0
附病					1	0

表 52 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果（単位：人） 平成 26 年度

業務コード	002	104	211	221	230	245	249	255	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	ホルトリジン (過去)	クロム酸 (過去)	重加酸 (過去)	ベンゼン (過去)	クロロ ホルム	ジクロロ メタン	メチル ブチルケトン	
常盤						2	2	1	0
小串	1	1	2	2	1				0
附病					1				0

表 53 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果（単位：人） 平成 27 年度

業務コード	002	104	201	211	221	230	245	249	255	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	ホルトリジン (過去)	アクリル アミド	クロム酸 (過去)	重加酸 (過去)	ベンゼン (過去)	クロロ ホルム	ジクロロ メタン	メチル ブチルケトン	
常盤							4	2	1	0
小串	1	1		2	2	1				0
附病			1			1				0

表 54 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果（単位：人） 平成 27 年度

業務コード	002	104	106	201	202	211	221	230	245	249	255	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	ホルトリジン (過去)	ペリリウム	アクリル アミド	アクリロ ニトリル	クロム酸 (過去を含む)	重加酸 (過去を含む)	ベンゼン (過去を含む)	クロロ ホルム	ジクロロ メタン	メチル ブチルケトン	
吉田			1	1					2	1		0
常盤					1				2	4	1	0
小串	1	1				2	2	1				
附病						1	1	1				

5. VDT 健康診断

1) 対象と概要

VDT (Visual Display Terminals) 作業の労働衛生管理について、国レベルでは昭和 60 年 12 月 20 日付け基発第 705 号「VDT 作業のための労働衛生上の指針について」、平成 14 年 4 月には「VDT 作業における労働衛生管理のためのガイドライン (厚生労働省)」が示されている。

これらを参考に、山口大学では、平成 16 年の法人化以前から、「VDT 健康診断対象者調査票」の作成や VDT 健診実施など、職員が VDT 作業による健康障害リスクを適切に管理するための支援体制の構築と見直しを行ってきた。表 55 には、平成 26 年度・平成 27 年度の各地区での VDT 健康診断の実施日および実施場所を示す。

表 55 各地区の実施日および実施場所

		吉田	常盤	小串	光
平成 26 年度	実施日	1/9	1/21	1/30	該当者なし
	場 所	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター 工学部分室 (保健室)	保健管理センター 医学部分室 (医心館2階)	
平成 27 年度	実施日	11/10	11/19	11/24	該当者なし
	場 所	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター 工学部分室 (保健室)	保健管理センター 医学部分室 (医心館2階)	

2) 方法と手順

VDT 作業とは、ディスプレイ、キーボード等により構成された VDT 機器を使用して、データの入力・検索・照合等、文書・画像等の作成・編集・修正、プログラミング、監視等を行う作業であり、これらの作業に従事する全職員を対象としている。従来は、これに該当すると思われる職員に、安全衛生対策室を通じて、事前調査として「VDT 健康診断対象者調査票」により、VDT 作業の種類と作業時間、自覚症状等についての作業従事状況調査を行った後、保健管理センターの医師が健康診断の省略可否判定を行っていたが、平成 26 年度と平成 27 年度は調査票を提出した職員全員を対象に実施している。

受診予定者には、安全衛生対策室を通じて、「眼精疲労の自覚症状についての質問表」と「健康診断票(VDT 作業従事者用)」を事前配付し、健康診断日程を通知している。検査項目は、①業務歴調査、②既往歴及び自覚症状の有無、③眼の検査(視力、眼位、調節機能)、④筋骨格系に関する検査(握力)であり、健康診断の実施自体は外部健診業者に委託しており、報告書は紙媒体で送付され、本人にも結果通知が行われる。

3) 受診状況

平成 26 年度と平成 27 年度の各地区の受診者数と判定区分を表 56 に示した。

表 56 各地区の実施状況

		受診者数 (人)	判定区分(点)				
			10	9~8	7~5	4~1	0
平成 26 年 度	吉田事業場	5	1	4			
	常盤事業場	2		2			
	小串事業場	10	1	9			
	光事業場	0					
平成 27 年 度	吉田事業場	5	1	4			
	常盤事業場	7	1	6			
	小串事業場	21	6	15			
	光事業場	0					

※10: 作業に常時従事可、9~8: 作業に常時従事可。眼疲労が強い場合には作業時間の短縮を考慮、

7~5: 総作業時間2時間以内。1連続作業時間 30 分以内、4~1: 作業時間をなるべく短縮、0: 作業は避けること

6. がん検診

1) 対象と概要

山口大学では、健康増進法第 19 条の 2 に基づく健康増進事業として位置づけられているがん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)を 40 歳以上の希望者に対して実施している(乳・子宮がんについては 20 歳以上の全女性職員)。がん検診に関しては、安全衛生対策室が実施主体であり、対策室が実施時期や方法などの計画立案を行い、外部業者に委託契約して検診を実施している。保健管理センターの関与としては、検診会場の提供及び事前準備(設営)、健診結果の管理である。各がん検診の対象者と検診項目を表 57 に、平成 26 年度及び平成 27 年度の各地区の実施時期及び実施場所を表 58 に示した。

表 57 がん検診の対象者および検査内容

検診項目	対象者	検査内容
肺がん検診	40歳以上	問診、胸部X線(間接)、喀痰検査
大腸がん検診	40歳以上	免疫便潜血反応検査(2日法)
胃がん検診	40歳以上	問診、胃部X線検査、※採血(萎縮性胃炎検診<ペプシノーゲン法>)
乳がん検診	全女性職員	問診、視触診、乳房 X 線検査(マンモグラフィ) ※マンモグラフィは2年に1回の受診を目安(生まれ年で対象者を調整)
子宮がん検診	全女性職員	問診、視診、内診、細胞診(子宮頸部)

表 58 各地区の実施日および実施場所

年度	地区名		肺がん	大腸がん	胃がん	子宮がん	乳がん	
平成 26 年度	吉田	実施日	7/31~8/1 8/19~26	7/31~8/1 8/19~26	1/8~9 ※採血 1/9	1/6~7,21	1/6~7,21	
		場 所	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター ※検体回収のみ	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター リフレッシュルーム	
	常盤	実施日	9/26~30	9/26~30	1/21	1/13	1/13	
		場 所	保健管理センター 常盤分室(保健室)	常盤分室(保健室) ※検体回収のみ	X線:会議棟横 採血:保健室	工学部会議棟横	工学部会議棟横	
	小串	実施日	9/9~19	9/9~19	1/27~30 ※採血 1/28~30	1/14~16,20 2/3~6,17	1/14~16,20 2/3~6,17	
		場 所	医心館 1 階	小串分室(医心館) ※検体回収のみ	X線:医心館玄関前 採血:医心館2F	医心館玄関前	医心館玄関前	
	光	実施日	8/7	8/7	12/17	12/16	12/16	
		場 所	中学校保健室横	中学校保健室 ※検体回収のみ	X線:室積公園 採血:中学校保健室	室積公園駐車場	室積公園駐車場	
	平成 27 年度	吉田	実施日	7/29~8/7	7/29~8/7	11/9~10 ※採血 11/10	11/26,12/4	11/26,12/4
			場 所	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター ※検体回収のみ	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター リフレッシュルーム
常盤		実施日	9/2~4	9/2~4	11/19	11/27	11/27	
		場 所	保健管理センター 常盤分室(保健室)	常盤分室(保健室) ※検体回収のみ	X線:会議棟横 採血:保健室	工学部会議棟横	工学部会議棟横	
小串		実施日	9/15~29	9/15~29	11/16~18,24 ※採血 11/17,18,24	11/25,12/9~ 11,15,18	11/25,12/9~ 11,15,18	
		場 所	医心館 1 階	小串分室(医心館) ※検体回収のみ	X線:医心館玄関前 採血:医心館2F	医心館玄関前	医心館玄関前	
光		実施日	8/20	8/20	11/11	11/30	11/30	
		場 所	中学校保健室横	中学校保健室 ※検体回収のみ	X線:室積公園 採血:中学校保健室	附属光小・中学校	附属光小・中学校	

2) 方法と手順

(1) 肺がん検診

40 歳以上の全職員を対象に肺がん検診を実施している。実施時期と実施場所は表 54 に示す通りで、一般定期健康診断(基本健診)として実施される胸部 X 線検査(間接撮影)を肺がん検診用としても代用している。具体的な手順としては、胸部 X 線検査は年間契約により委託した健診業者所有の検診車で実施しており、喀痰検査については、事前に安全衛生対策室を通じて受検希望の有無を調査し、希望者には肺がん検診受診票とともに事前配付を行っている。また、受検当日までに喀痰検査対象者名簿を準備し、検診当日に検体を回収し、対象者名簿とともに健診業者に受け渡しをしている。検査結果については、健診終了後 2～3 週間後を目安に、健診業者から電子データで報告書を受け取っている。

(2) 大腸がん検診

40 歳以上の検査を希望する職員を対象に実施している。実施時期と実施場所は表 54 に示す通りで、一般定期健康診断(基本健診)の時期に合わせて実施している。具体的な手順としては、事前に安全衛生対策室を通じて便潜血反応検査の希望の有無を調査し、希望者には基本健診問診票とともに検査容器を事前配付している。健康診断該当日までに 2 日分を採便し、健康診断受診時に受付にて回収を行っている。回収した検体は、年間契約した外部業者に回収日ごとに、検体受付名簿とともに手渡ししている。検査結果は、健診業者から電子データで報告書を受け取っている。

(3) 胃がん検診

40 歳以上の検査を希望する職員を対象に実施している。実施時期と実施場所は表 54 に示した通りである。具体的な手順としては、事前に安全衛生対策室を通じて希望調査を行い、胃検診(胃部 X 線検査)と萎縮性胃炎検診(採血<ペプシノゲン法>、希望者にはピロリ菌抗体検査)のいずれかの方法を選択してもらい実施している。ペプシノゲン判定検査を胃がん検診として実施することについて専門家から疑義があったが、受診希望者の需要を考慮し、平成 23 年度の労働安全衛生委員会で審議の結果、萎縮性胃炎検診として、将来的な廃止を前提とした当面の特別措置として継続して実施している。胃部 X 線検査希望者には、事前に問診票を配付し、安全衛生対策室が受付用に受検者名簿を作成している。胃部 X 線検査は年間契約により委託した健診業者所有の検診車で実施、採血検査についても委託業者が実施しており、各事業場の保健管理センターでは検査室を提供している。検査結果は、健診業者から電子データとペーパーで報告書を受け取っている。

(4) 子宮がん検診

平成 17 年度以降は全女性職員(20 歳以上)を対象に実施している(平成 16 年度までは 40 歳以上対象)。実施時期と実施場所は表 54 に示した通りである。具体的な手順としては、事前に安全衛生対策室を通じて希望調査を行い、希望者には事前に問診票を配付し、安全衛生対策室が受付用に受検者名簿を作成している。年間契約により委託した健診業者所有の検診車で視診、内診、細胞診を実施している。検査結果は、健診業者から電子データとペーパーで報告書を受け取っている。なお、附属光小・中学校事業場については、平成 22 年度までは指定病院(光市立光総合病院)での個別受診という形式で実施していたが、平成 23 年度からは、他地区と同様に年間契約した委託業者所有の検診車で実施している。

(5) 乳がん検診

平成 17 年度以降は全女性職員(20 歳以上)を対象に実施している(平成 16 年度までは 40 歳以上対象)。実施時期と実施場所は表 54 に示した通りである。具体的な手順としては、事前に安全衛生対策室を通じて希望調査を行い、視触診と乳房 X 線検査(マンモグラフィ)のいずれかの方法を選択してもらい実施している。なお、マンモグラフィは平成 16 年度から追加項目として導入し、2 年に 1 回の受診を目安としている(生まれ年(西暦)で対象人数を調整している)。希望者には事前に問診票を配付し、安全衛生対策室が受付用に受検者名簿を作成している。マンモグラフィは年間契約により委託した健診業者所有の検診車で実施、視触診についても外部業者が実施しており、各事業場の保健管理センターで検査室を提供している。検査結果は、健診業者から電子データとペーパーで報告書を受け取っている。なお、附属光小・中学校事業場については、平成 22 年度までは指定病院(光市立光総合病院)での個別受診という形式で実施していたが、平成 23 年度からは、他地区と同様に年間契約した委託業者所有の検診車で実施している。

3) 受診状況
(1) 肺がん検診

平成26年度と平成27年度の肺がん検診受診状況を表59～62に示した。

表59 肺がん検診結果(事業場別) 平成26年度

事業場	胸部間接撮影						指導区分				
	受検者数	判定区分					受検者	指導区分			
		B/b	C/c	D/d	E1/e1	E2/e2		異常なし	要観察	要精査	検査不能
吉田	391	370	7	2	12	49	33			16	
常盤	176	168	7		1	46	34			12	
小串・附属病院	676	634	19	5	17	104	82			22	
附属学校	66	62	2		2	3	1			2	
合計	1309	1234	35	7	32	202	150			52	

表60 肺がん検診結果(年齢、性別) 平成26年度

年齢	性別	胸部間接撮影						喀痰検査				
		受検者数	判定区分					受検者	指導区分			
			B/b	C/c	D/d	E1/e1	E2/e2		異常なし	要観察	要精査	検査不能
40～49	男	340	329	4	2	5	74	54			20	
	女	368	355	5		8	31	18			13	
	計	708	684	9	2	13	105	72			33	
50～59	男	225	207	7		10	52	44			8	
	女	215	200	9	3	3	15	12			3	
	計	440	422	17	3	13	67	56			11	
60～	男	118	104	7	2	5	24	19			5	
	女	43	39	3		1	6	3			3	
	計	161	143	10	2	6	30	22			8	
合計	男	683	640	18	4	20	150	117			33	
	女	626	594	17	3	12	52	33			19	
	計	1309	1234	35	7	32	202	150			52	

表61 肺がん検診結果(事業場別) 平成27年度

事業場	胸部間接撮影						喀痰検査				
	受検者数	判定区分					受検者	指導区分			
		B/b	C/c	D/d	E1/e1	E2/e2		異常なし	要観察	要精査	検査不能
吉田	404	375	15	1	13	70	44			26	
常盤	193	182	4	4	3	58	40			18	
小串・附属病院	684	643	27	3	11	101	72			29	
附属学校	68	64	2	1	1	11	9			2	
合計	1349	1264	48	9	28	240	165			75	

表62 肺がん検診結果(年齢、性別) 平成27年度

年齢	性別	胸部間接撮影						喀痰検査				
		受検者数	判定区分					受検者	指導区分			
			B/b	C/c	D/d	E1/e1	E2/e2		異常なし	要観察	要精査	検査不能
40～49	男	338	321	9	2	6	79	56			23	
	女	390	375	9		6	42	29			13	
	計	728	696	18	2	12	121	85			36	
50～59	男	225	203	11	1	10	63	41			22	
	女	227	216	8	2	1	19	11			8	
	計	452	419	19	3	11	82	52			30	
60～	男	116	103	5	4	4	30	25			5	
	女	53	46	6		1	7	3			4	
	計	169	149	11	4	5	37	28			9	
合計	男	679	627	25	7	20	172	122			50	
	女	670	637	23	2	8	68	43			25	
	計	1349	1264	48	9	28	240	165			75	

判定区分: B/b「異常所見を認めない」、C/c「異常所見を認めるが精査を必要としない」、
D/d「異常所見を認めるが肺がん以外の疾患が考えられる」、E1/e1「肺がんをも否定できない」、E2/e2「肺がんの疑い」

(2) 大腸がん検診

平成26年度と平成27年度の大腸がん検診受診状況を表63～64に示した。

表63 大腸がん健診結果(事業場別)

事業場	平成26年度			平成27年度		
	受検者数	結果		受検者数	結果	
		陰性	陽性		陰性	陽性
吉田	90	86	4	117	110	7
常盤	81	74	7	97	94	3
小串・附属病院	247	238	9	283	275	8
附属学校	23	23	0	36	36	1
合計	441	421	20	533	515	19

表64 大腸がん健診結果(年齢、性別)

		平成26年度			平成27年度		
		受検者数	結果		受検者数	結果	
			陰性	陽性		陰性	陽性
40～49	男	110	105	5	114	111	3
	女	109	104	5	132	127	5
	計	219	209	10	246	238	8
50～59	男	81	78	3	109	103	6
	女	79	78	1	103	100	3
	計	160	156	4	212	203	9
60～	男	39	34	5	44	42	2
	女	23	22	1	32	32	0
	計	62	56	6	76	74	2
合計	男	230	217	13	267	256	11
	女	211	204	7	267	259	8
	計	441	421	20	534	515	19

(3) 胃がん検診

平成26年度と平成27年度の胃部X線検査結果を表65～68に示した。

表65 胃部X線検査結果(事業場別)

平成26年度

事業場	受検者数	異常なし	有所見者	所見内訳(延べ数)											事後措置 要精査		
				欠損影	ニツシエ	粘膜集中	粘膜異常	壁硬化	辺縁不整	変形	透亮像	※胃底腺ポリープ	粘膜腫瘍疑	手術胃			
吉田	51	47	4	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
常盤	22	20	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
小串・附属病院	91	87	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2
附属学校	19	18	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	183	172	11	0	0	2	4	1	0	0	0	1	3	0	0	0	8

※ 所見はあるが、事後措置としては「経過観察」。

表66 胃部X線検査結果(年齢、性別)

平成26年度

年齢	性別	受検者数	異常なし	有所見者	所見内訳(延べ数)											事後措置 要精査	
					欠損影	ニツシエ	粘膜集中	粘膜異常	壁硬化	辺縁不整	変形	透亮像	※胃底腺ポリープ	粘膜腫瘍疑	手術胃		
40～49	男	45	42	3	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	2
	女	41	39	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	計	86	81	5	0	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	0	4
50～59	男	36	33	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女	38	35	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1
	計	74	68	6	0	0	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4
60～	男	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	23	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	98	92	6	0	0	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	5
	女	85	80	5	0	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0	0	3
	計	183	172	11	0	0	2	4	1	0	0	1	3	0	0	0	8

表67 胃部X線検査結果(事業場別)

平成27年度

事業場	受検者数	異常なし	有所見者	所見内訳(延べ数)											事後措置 要精査		
				欠損影	ニツシエ	粘膜集中	粘膜異常	壁硬化	辺縁不整	変形	透亮像	※胃底腺ポリープ	粘膜腫瘍疑	手術胃			
吉田	54	50	4	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4
常盤	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小串・附属病院	87	78	9	0	0	1	2	0	0	1	1	4	0	0	0	0	5
附属学校	15	14	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	173	159	14	0	0	1	2	1	4	1	1	4	0	0	0	0	10

表68 胃部X線検査結果(年齢、性別)

平成27年度

年齢	性別	受検者数	異常なし	有所見者	所見内訳(延べ数)											事後措置 要精査	
					欠損影	ニツシエ	粘膜集中	粘膜異常	壁硬化	辺縁不整	変形	透亮像	※胃底腺ポリープ	粘膜腫瘍疑	手術胃		
40～49	男	32	30	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	女	39	37	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	計	71	67	4	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
50～59	男	33	29	4	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	4
	女	46	42	4	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	2
	計	79	71	8	0	0	0	1	1	2	1	1	2	0	0	0	6
60～	男	17	16	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	女	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	計	23	21	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
合計	男	82	75	7	0	0	1	0	1	4	0	1	0	0	0	0	7
	女	91	84	7	0	0	0	2	0	0	1	0	4	0	0	0	3
	計	173	159	14	0	0	1	2	1	4	1	1	4	0	0	0	10

(4) 胃がんリスク検診

平成26年度と平成27年度の胃がんリスク検診の結果を表69～72に示した。

表69 胃がんリスク健診結果(事業場別)

平成 26年度

事業場	受検者数	リスク判定結果			
		A	B	C	D
吉田	26	19	6	1	0
常盤	12	11	1	0	0
小串・附属病院	104	86	11	7	0
附属学校	5	2	0	3	0
合計	147	118	18	11	0

表70 胃がんリスク健診結果(年齢、性別)

平成 26年度

年齢	性別	受検者数	リスク判定結果			
			A	B	C	D
40～49	男	27	22	4	1	0
	女	60	49	5	6	0
	計	87	71	9	7	0
50～59	男	20	16	4	0	0
	女	26	19	4	3	0
	計	46	35	8	3	0
60～	男	8	7	0	1	0
	女	6	5	1	0	0
	計	14	12	1	1	0
合計	男	55	45	8	2	0
	女	92	73	10	9	0
	計	147	118	18	11	0

表71 胃がんリスク健診結果(事業場別)

平成 27年度

事業場	受検者数	リスク判定結果			
		A	B	C	D
吉田	86	66	10	5	2
常盤	40	32	6	2	0
小串・附属病院	279	236	38	5	0
附属学校	33	26	6	1	0
合計	438	360	60	13	2

表72 胃がんリスク健診結果(年齢、性別)

平成 27年度

年齢	性別	受検者数	リスク判定結果			
			A	B	C	D
40～49	男	81	70	9	2	0
	女	162	135	24	2	1
	計	243	205	33	4	1
50～59	男	58	46	10	2	0
	女	95	80	9	6	0
	計	153	126	19	8	0
60～	男	20	17	3	0	0
	女	19	12	5	1	1
	計	39	29	8	1	1
合計	男	159	133	22	4	0
	女	276	227	38	9	2
	計	435	360	60	13	2

(5) 子宮がん検診

平成26年度と平成27年度の子宮がん検診受診状況を表73～76に示した。

表73 子宮がん検診結果(事業場別)

平成26年度

事業場	受検者数	内診所見				細胞診(class分類)						事後措置		
		卵巣腫瘍	子宮腫瘍	子宮頸管ポリープ	その他	I	II	III a	III b	IV	V	異常なし	要観察	要精査
吉田	69	0	0	0	1	65	0	2	1	1	0	64	0	5(1)
常盤	32	0	0	0	1	32	0	0	0	0	0	31	0	1(1)
小串・附属病院	396	0	1	4	8	394	1	0	1	0	0	394	1(1)	14(12)
附属学校	16	0	0	0	0	16						16		
合計	513	0	1	4	10	507	1	2	2	1	0	505	1(1)	20(14)

表74 子宮がん検診結果(年齢別)

平成26年度

年齢	受検者数	内診所見				細胞診(class分類)						事後措置		
		卵巣腫瘍	子宮腫瘍	子宮頸管ポリープ	その他	I	II	III a	III b	IV	V	異常なし	要観察	要精査
～29	76	0	0	0	2	74	1	1	0	0	0	72	0	4(2)
30～39	158	0	0	0	4	156	0	0	2	0	0	152	0	6(4)
40～49	161	0	0	2	2	159	0	1	0	1	0	155	0	6(4)
50～59	99	0	1	1	1	99	0	0	0	0	0	96	1(1)	2(2)
60～	19	0	0	1	1	19	0	0	0	0	0	17	0	2(2)
合計	513	0	1	4	10	507	1	2	2	1	0	492	1(1)	20(14)

※事後措置の()内は内診所見などによる要観察数、要精査数

※「要観察」の内診所見内訳は子宮頸管ポリープ1名

※「要精査」の内診所見内訳はカンジダ膣炎9名、子宮頸管ポリープ3名、子宮腫瘍1名、子宮下垂1名

※細胞診表中太字はASC-US、ASC-H判定で要精査

表75 子宮がん検診結果(事業場別)

平成27年度

事業場	受検者数	内診所見				細胞診(class分類)						事後措置		
		卵巣腫瘍	子宮腫瘍	子宮頸管ポリープ	その他	I	II	III a	III b	IV	V	異常なし	要観察	要精査
吉田	105	0	0	0	2	101	1	1	1	1	0	99	0	6(2)
常盤	50	0	0	0	2	47	1	0	1	1	0	45	0	5(2)
小串・附属病院	543	0	0	3	10	529	2	1	9	2	0	516	3(3)	24(10)
附属学校	41	0	0	0	2	41	0	0	0	0	0	39	0	2(2)
合計	739	0	0	3	16	718	4	2	11	4	0	699	3(3)	37(16)

表76 子宮がん検診結果(年齢別)

平成27年度

年齢	受検者数	内診所見				細胞診(class分類)						事後措置		
		卵巣腫瘍	子宮腫瘍	子宮頸管ポリープ	その他	I	II	III a	III b	IV	V	異常なし	要観察	要精査
～29	126	0	0	0	2	123	0	0	3	0	0	121	0	5(2)
30～39	232	0	0	1	7	222	2	2	5	1	0	214	1(1)	17(7)
40～49	226	0	0	1	5	219	1	0	3	3	0	213	0	13(6)
50～59	126	0	0	1	1	125	1	0	0	0	0	123	1(1)	2(1)
60～	29	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	28	1(1)	0
合計	739	0	0	3	15	718	4	2	11	4	0	699	3(3)	37(16)

※事後措置の()内は内診所見などによる要観察数、要精査数

※「要観察」の内診所見内訳は子宮頸管ポリープ2名、子宮下垂1名

※「要精査」の内診所見内訳はカンジダ膣炎14名、子宮頸管ポリープ1名、カンジダ膣炎1名

※細胞診表中太字はASC-US、ASC-H判定で要精査

(6) 乳がん検診

平成26年度と平成27年度の乳がん検診受診状況を表77～80に示した。

表77 乳がん検診結果(事業場別)

平成 26年度

事業場	受検者数	視触診		マンモグラフィー				事後措置		
		異常なし	有所見者	異常なし	有所見者				要観察	要精査
					良性	良性 (悪性)	悪性 疑い	悪性		
吉田	32	31	1	26	1	5	0	0	0	6
常盤	18	17	1	17	1	0	0	0	0	1
小串・附属病院	185	182	3	162	9	14	0	0	0	17
附属学校	9	9	0	8	1	0	0	0	0	0
合計	244	239	5	213	12	19	0	0	0	24

表78 乳がん検診結果(年齢別)

平成 26年度

年齢	受検者数	視触診		マンモグラフィー				事後措置		
		異常なし	有所見者	異常なし	有所見者				要観察	要精査
					良性	良性 (悪性)	悪性 疑い	悪性		
～29	22	20	2	22	0	0	0	0	0	2
30～39	67	65	2	59	4	4	0	0	0	6
40～49	89	88	1	72	7	10	0	0	0	11
50～59	56	56	0	51	1	4	0	0	0	4
60～	10	10	0	9	0	1	0	0	0	1
合計	244	239	5	213	12	19	0	0	0	24

※事後措置は視触診とマンモグラフィー有所見者の総合判定

表79 乳がん検診結果(事業場別)

平成 27年度

事業場	受検者数	視触診		マンモグラフィー				事後措置		
		異常なし	有所見者	異常なし	有所見者				要観察	要精査
					良性	良性 (悪性)	悪性 疑い	悪性		
吉田	55	49	6	47	3	5	0	0	0	10
常盤	21	21	0	19	2	0	0	0	0	0
小串・附属病院	135	126	9	115	7	13	0	0	0	19
附属学校	20	18	2	18	2	0	0	0	0	2
合計	231	214	17	199	14	18	0	0	0	31

表80 乳がん検診結果(年齢別)

平成 27年度

年齢	受検者数	視触診		マンモグラフィー				事後措置		
		異常なし	有所見者	異常なし	有所見者				要観察	要精査
					良性	良性 (悪性)	悪性 疑い	悪性		
～29	5	5	9	4	0	1	0	0	0	1
30～39	22	21	1	21	0	1	0	0	0	1
40～49	129	115	14	108	9	12	0	0	0	23
50～59	62	60	2	54	5	3	0	0	0	5
60～	13	13	0	12	0	1	0	0	0	1
合計	231	214	17	199	14	18	0	0	0	31

※事後措置は視触診とマンモグラフィー有所見者の総合判定